



兵庫県立明石南高等学校  
77 回生年次通信 No.18  
2022 年 10 月 21 日発行

## Manners maketh man.

Noriaki Hashimoto, Teacher of Class 4

Seven months have passed since our new life here at Akashi Minami High School started. Have you got used to it? I hope that many of you will answer “Yes”. I hope that you are enjoying your daily life, including studying, club activities, and so on. As for me, the answer of the question is definitely “No”.

Of course, there are a few things that make me happy. For example, there is no class when an alert like a heavy rain warning is issued at 6 a.m. in Kobe City. Although Akashi Minami High School is in Akashi City.

On the other hand, there are a lot of things that make me feel stressed and annoyed. For instance, .....

Another example that makes me disappointed is that there are so many students who forget things like their homework, or fail to meet deadlines for their submissions. Also, many of them don't come to say what they forgot until I tell them. I always feel sad, but I don't complain about it. Because I believe in them and their marvelous hidden talents.

Even so, I sometimes scream the phrase “Why Meinan Students?!” in my mind like Atsugiri Jason. (Atsugiri Jason is an American comedian. His comedic narrative is based on his confusion with Kanji, ending with the punchline “Why Japanese People?!”)

To relieve stress, I watch movies from time to time. Let me introduce my favorite movie, “Kingsman”. It is an action spy comedy movie. An old saying, “Manners maketh man”, meaning that the way we act, the way we treat people, make us who we are as people, is used in the movie. I like this old saying very much, and it is one of my mottos!

Never complain about anything. Don't be negative about everything. Be kind and honest to others. Be yourself no matter what they say.



Try to be better than me?!

It is not because things are difficult that we do not dare.

It is because we do not dare that they are difficult.

by Lucius Annaeus Seneca

(Part of the content of the essay is omitted.)

## 2 学期後半に向けて

中間考査が終わりました。テストの出来具合はいかがでしたか。今はテストが終わってホッとしている、というのが正直なところだと思いますが、今から 2 学期後半に向けて、気持ちを新たに頑張りましょう。2 学期前半を振り返り、改善してほしい点や 3 年次生の現在の進路状況をあげておきます。

### ◆小テスト

国・数・英の先生方は採点する度にあまりの出来の悪さにがっかりしています。小テストは満点を狙って勉強するものですよ。

### ◆置き勉

9 月末に注意がありましたが、靴箱等への置き勉は禁止です。毎日たくさんの荷物があり大変なのはわかりますが、持ち帰りの徹底をお願いします。定期的に点検をします。

### ◆通学マナー

相変わらず近隣の方からの苦情電話がかかってきます。自転車の併進等、歩行者に迷惑をかけないようにして下さい。また音楽を聴きながら、スマホを触りながらの運転は道路交通法違反です。ながら運転で指導した人には交通事故で命を落とした教え子の話もしましたが、自分の命は自分で守って下さい。

### ◆3 年次生の進路状況

9 月中旬より入社試験が実施されましたが、3 年次生 (75 回生) の学校斡旋での就職希望者は全員内定をいただいています。就職を希望している人は3 年間の欠席日数が 3 日以内になるように、健康管理に気をつけて下さい。人気のある企業を受験する人は 3 年間皆勤の人が圧倒的に多いです。そして高校時代に頑張ったことについて面接で自信を持って言える人が有利です。進学を希望している人は 10 月中旬以降、推薦型の入試 (総合型選抜入試・学校推薦型選抜入試・指定校推薦入試) が始まります。入試に向けて多くの方が志望理由書作成や面接練習に取り組んでいるところです。昨年度は 3 年次を担当していたので、私も面接練習をしましたが、志望理由がうまく言えない人が多くて苦勞しました。77 回生の皆さんもあつと言う間に 3 年次になり、入社試験や入学試験を受ける日を迎えます。ひとりひとりの「夢実現」に向けて日々充実させていきましょう！

## 部活動大会結果

### ★水泳部・村上徹平君（4組）県大会優勝・近畿大会2位

兵庫県高等学校ジュニア選手権水泳競技大会が9/3（土）・4（日）に行われ、村上君が100m背泳ぎで優勝しました。村上君は県予選を通過し、近畿高等学校新人水泳競技大会に出場しました。近畿大会は10/8（土）に奈良県で行われ、100m背泳ぎで2位になりました。おめでとうございます。今後ますますの活躍を期待しています。

### ★男子バスケットボール部東播総体2位

9/18（日）・24（土）、10/1（土）に行われた東播総体で2位入賞しました。おめでとうございます。今後ますますの活躍を期待しています。

## 第2回進研総合学力テストについて

10/29（土）に第2回進研総合学力テスト（進研模試）が行われます。7月模試を受けてみて分かったと思いますが、模試の問題は学校の定期考査の問題よりも難しいです。しかし、授業で基礎・基本を習得することで少しずつ模試の問題が解けるようになってきます。模試対策の課題も出す予定ですが、まずは授業を大切にしてください。時間割および受験上の注意事項は以下の通りです。

### 【時間割】

8:30～ 8:40 出欠確認・諸注意 \*8:30着席完了

8:40～10:00 英語（80分）

10:10～11:50 数学（100分）

12:00～13:20 国語（80分）

### 【受験上の注意事項】

1. 全国レベルで自分の実力を測るためのテストです。体調を整え、欠席しないようにしてください。
2. 受験番号・名前、その他必要事項の記入漏れがないように気をつけてください。
3. 時間をフルに使って、1問でも多くの問題を解きましょう。難しい問題にも最初からあきらめず、まわらずに挑戦しましょう。
4. 受験後は配布された解答冊子を見て、すぐに答え合わせをしましょう。また、解説等もよく読みましょう。後で答え合わせができるように、問題用紙に自分がどのように解答したかがわかるように記録しておきましょう。
5. 問題冊子および解答冊子は大切に保管しておきましょう。模試のやり直しを目的に、今後定期考査等の試験範囲に入れる場合があります。

負けるのが嫌いだったら

負けるのが嫌いだったら

負けない工夫をする筈だ

負けないように

今までと違う努力をする筈だ

今までと違った行動を起こす筈だ

そういうことが何もなくして

同じ負け方をするのは

負けるのが好きだからだ

現在運動部各競技で新人戦が行われています。卓球部の女子は東播総体の学校対抗戦（団体戦）で残念ながら予選落ちしてしまい、県大会出場を逃してしまいました。試合で負けて目に悔し涙を浮かべている人もいました。悔しがることは強くなるためにとっても大切な要素ですが、その先に「では今度同じ相手と当たったら、どうすれば勝てるか」を真剣に考え、練習内容や練習に取り組む姿勢、毎日の生活（食事、睡眠、勉強、etc）を変える工夫が求められます。新人戦で負けた運動部選手諸君、すでに「負けない工夫」を始めていますか。

勉強でも同じことが言えると思います。中間考査が終わりましたが、これまでのテストの結果が思わしくなかった人は今回「負けない工夫＝点数を取る工夫」をしましたか。いつもと同じ勉強の仕方ではいつもと同じ結果しか出せませんよ。口では偉そうなことを言っている、結局同じことしかしない人は「負けるのが好きな人」ですよ。採点結果をもとに各科目で考査講評をまとめてもらいますが、「いつもと同じ考査講評＝勉強していない！」にならないことを願っています。（F）